

「子供たちも自分も『成長』」

教員の仕事って何？と尋ねられたとき、どう答えますか？私は「子供と一緒に成長できる仕事」だと答えます。子供たちは、毎日成長しています。計算ができるようになったり、跳び箱が跳べるようになったり、ケンカをしてもすぐに謝れるようになったり…。「やったあ、できた！」「なるほど、そういうことか。やっと分かったよ、先生！」「先生、これ見て！こんなに書けたよ！」教室では、こんな言葉を毎日聞くことができます。「できた」「分かった」と言う子供たちは、本当にうれしそうな顔をしています。そんな子供たちの成長を間近で見られるのが、教員の大きな魅力の一つです。

また、子供たちから私自身が学ぶこともたくさんあります。授業中、こちらが考えもつかないような鋭い発言をしたり、悩んでいる友達にずっと寄り添って話を聞いていたり、新しいことを学んで身につけていく楽しさを全身で表現したりと、大人には少々ハードルが高いことも、子供たちは堂々としています。そんな子供たちを目の当たりにしたからこそ、学ぶ楽しさをもっと引き出すにはどんな授業構成にすればいいかとか、相手が安心して心を開いてくれるにはどんな表情や話し方が必要なのか、といったフィードバックができました。一教員として成長できたのは子供たちのおかげでもあります。

子供たちは、無限に成長する可能性をもっています。それと同じように、教員も子供たちと一緒にどんどん成長することができる職業だと感じます。「できたよ、先生！」という子供たちの声は、教員としての喜びであり、誇りでもあります。子供と一緒に学び合い、共に成長し合える、教員の仕事はそんな素敵な仕事でもあると、私は考えます。